

令和5年度 地域懇談会報告書

(令和5年10月24日～令和6年2月13日)



目 次

育 和	・ ・ ・ ・ ・	P 1
田 辺	・ ・ ・ ・ ・	P 5
南田辺	・ ・ ・ ・ ・	P 11
南百済	・ ・ ・ ・ ・	P 15
湯 里	・ ・ ・ ・ ・	P 21
矢田東	・ ・ ・ ・ ・	P 27
矢田中	・ ・ ・ ・ ・	P 33

令和5年度 育和地域懇談会 まとめ

《 地域懇談会の目的 》

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和5年11月22日（水） （午前10時～11時30分）			
開催場所	育和社会福祉会館			
参加者	育和地域 東住吉北包括 白鷺ランチ 区社協	三原会長 河村民生委員長 杉本女性部長 藤田氏（ふれあい喫茶） 新子氏（親子サロン） 田中氏（食事サービス） 上阪サポーター 多湖センター長 中木氏 萩野（地域支援） 郷原（地域支援） 萩野（地域支援） 岡村（体制整備） 前田（体制整備） 森（見守り相談室）		
テーマ	食事サービス、ふれあい喫茶、親子サロン			



集いの場・居場所の重要性とは？

誰もが
孤立しない
地域づくり

つながり
づくり

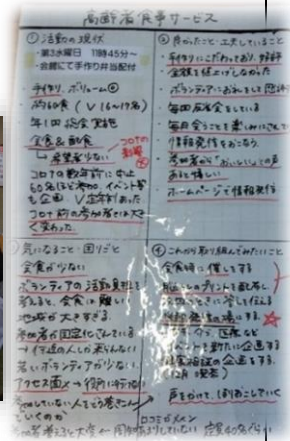
居場所
づくり

（育和）地域懇談会

テーマ：高齢者食事サービス



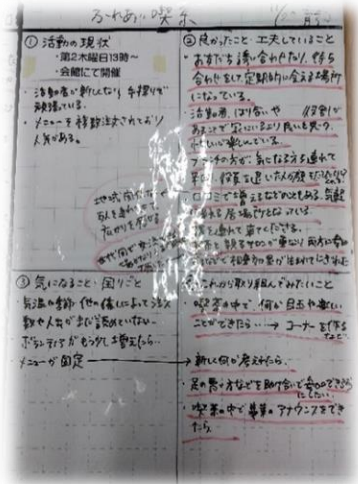
① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第3水曜日 11時45分～開催 ●会館にて手作り弁当配付 ・約60食を作っている（ボランティアや見学者分を含む）。16～17名が役割分担しながら従事している。 ・会食と配食を併用しているが、コロナの影響が大きく、会食希望者はほとんどいない状況。 ・ボランティアの高齢化により、コロナの数年前に活動を休止していた。ボランティアの定年を70歳と定めていたため運営が難しくなった。 ・会食制で開催していた当時は60名の参加があり、会場に入りきれずに廊下や物置スペースも使っていたほどだった。 ・会食時代の参加者も高齢となって大きく入れ替わり、現在の参加者の多くは弁当を取りに行くことが日常となっている。	・手作りにこだわっており好評を得ている。 ・参加者から「美味しい」という声があると嬉しい。 ・物価上昇で材料価格も値上がりしているが、提供金額は値上げをせずに、なんとか頑張っている。 ・参加者は毎月顔を合わせることを楽しみにされている。 ・定年制を撤廃するとともに、女性部にも協力を依頼してボランティア人数を確保した。 ・ボランティアには地区社協からペットボトルのお茶が提供されている。 ・年1回総会を開催し、事業報告を行っている。 ・毎回反省会をしている。 ・ホームページで地域活動の情報発信をしている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・会食での利用者が少ない。 ・若いボランティアが少ない。 ・会食にするとボランティアの拘束時間が増えて片付けも大変になる。 ・参加者が増え過ぎると大変なので、周知はあまりせず口コミがメイン。参加定員は約40名で、既に一杯になっている。 ・地域が大きすぎる。参加者が固定化されていて、会館付近の人しか来られない。 ・地域には高齢者が約2,000名いるが、集いの場に参加していない人をどう巻き込んでいくかが今後の課題。	・開催時に催しをしたり、参加者全員で楽しめる企画を考えたい。 ・詐欺被害防止や介護、医療など情報発信を行う場にできないか。 ・北地域包括支援センターや区社協と連携し、健康相談や集いの場の紹介等を行っていききたい。 ・集いの場に参加されていない高齢者に声をかけて、参加者を掘り起こしていく。



（育和）地域懇談会

テーマ：ふれあい喫茶



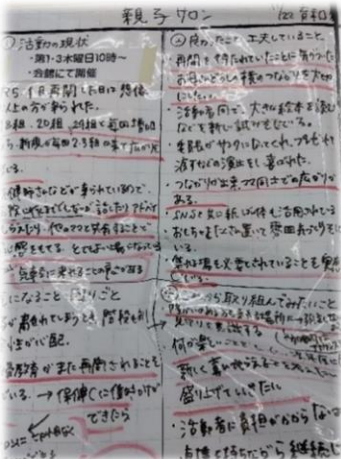
① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2木曜日13時～15時開催 ●会館にて開催 ・活動者が新しくなり、手探りで頑張っている。 ・複数のメニューを注文される方が多く、人気がある。 	・友人同士誘い合わせたり、待ち合わせをして定期的に会える場所になっている。 ・活動者は張り合いや役割があることで、家にいるより良いと思う。忙しいが楽しんでいる。 ・ランチの方が気になる方を連れてきたり、役員を退いた方が顔を出したりしてくれる。 ・ロコミで増えることもある。 ・気軽に来られる場所になっている。 ・地域に関係なく友人を連れて来られる方もおられ、活動に広がりを感じた。 ・孫を連れて来られる方もおられ、世代間交流の場にもなり得る可能性を感じた。 ・喫茶と親子サロンの開催日が重なった日があったが、両方に参加する方もおられ、相乗効果が生まれて賑わった。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・気温や季節、他の催しによって注文数や参加人数にばらつきがあり、まだ予測できていない。 ・ボランティアの人数がもう少し増えたらいいなと思う。 ・メニューが固定化している。 	・喫茶の中で何か楽しい企画を考えたい。 →コーナーを作るなどしてみる。 ・メニューについて新しく何か考えたい。 ・足の悪い方などを助け合いで参加できるようにしたい。 ・喫茶の中で事業のアナウンスができればいいなと思う。 



（育和）地域懇談会

テーマ：親子サロン



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第1・3木曜日10時～11時30分開催 ●会館にて開催 ・再開した令和5年1月は想像以上の方が来られた。18組、20組、24組と毎回参加者が増加した。 ・毎回2、3組は新規が来られて広がりを感じる。 ・保健師や歯科医師などが来られているので、病院に行くまでもないことを話したり、アドバイスをもらえたり、他の保護者と共有することで安心感を持てる、良い場になっている。 ・歯科医師は近所の方であり顔見知りなので、敷居が低く話しやすい。 →子育ては孤立しがちになるが、この場があることでつながれる。子育て中の保護者達が安心感を得られる場所になっている。 また、気軽に来られることの良さがある。	・再開を待たれていたことに気がついた。 ・保護者同士の横のつながりを大切にしたい。 ・活動者間で大きな絵本を読むなど新しい試みをしている。 ・民生委員長がサンタになって、プレゼントを渡すなどの演出をして喜ばれた。 ・つながりができ保護者同士での広がりがある。 ・SNSと共に紙媒体も活用している。 ・おもちゃをたくさん置いて、雰囲気づくりをしている。 ・集まる場を必要とされていることを実感している。 
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・参加者が多い時は1階と2階を使用し、年齢で会場を分けた。兄妹がいると親子が離れてしまう。階段もあり安全面が心配。 →見守りを意識する。 ・妊婦教室が再開されることを望んでいるので、保健センターに働きかけてほしい。 →親子サロンに切れ目なくつなげることができ 	・障がいのある方も来られる場所にする。 →孤立しないように、効率的なアナウンスをしたい。 ・次年度に向けて、新しく喜んでもらえることを考え、盛り上げていきたい。 ・活動者に負担がかからないよう横の連携を持ちながら継続していきたい。 

令和5年度 田辺地域懇談会 まとめ

《 地域懇談会の目的 》

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和5年11月21日（火） （午前10時～11時30分）	
開催場所	田辺会館	
参加者	田辺地域 区社協	前田会長 金谷連合振興町会副会長 松井氏 鍋岡氏（食事サービス） 玉岡サポーター 佐藤（事務局長） 荻野（地域支援） 郷原（地域支援） 新井（地域支援） 岡村（体制整備） 荒井（体制整備） 森（見守り相談室） 濱辺（地域包括） 杉井（地域包括） 甚九（地域包括）
テーマ	食事サービス、ふれあい喫茶、子ども食堂元気亭 青春クラブ（麻雀・カラオケ）、喫茶なんてん	



集いの場・居場所の重要性とは？

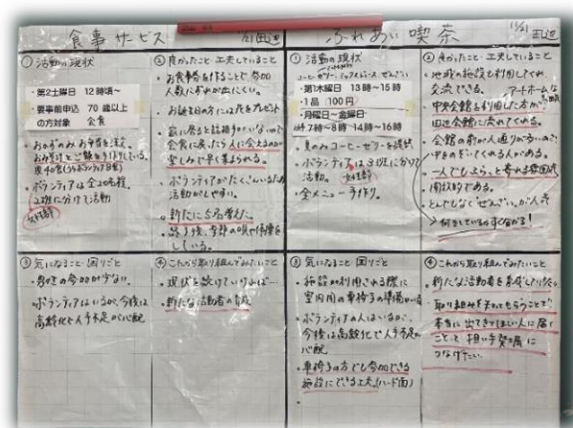
誰もが
孤立しない
地域づくり

つながり
づくり

居場所
づくり



テーマ：高齢者食事サービス

① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2土曜日 12時頃～開催 ●要事前申込、70歳以上の方が対象 ●会食形式で実施 ・おかずは弁当を発注し、みそ汁とご飯を手作りしている。 ・ボランティアスタッフは女性部のメンバーを中心に約20名ほど在籍しており、2班に分かれて活動している。 現在の参加者は約30名、ボランティアの分を含めて40食を用意している。 	・コロナ禍も食事サービスを会食形式から配食形式に変えて実施するなどの工夫をしながら、つながりを切らないことを意識して活動していた。 ・事前申込制で各町会で取りまとめているので、人数のずれはほとんどない。 ・ボランティアがたくさんいるため活動がしやすい。 ・配食から会食に戻す際に回覧板を活用したことで新規申込者が5名増えた。 ・人に会えることが楽しみで開始時間よりずいぶん早くに集まって談笑している。 ・お誕生日の方々に花をプレゼントし喜ばれている。 ・食後に季節の歌を歌ったり体操するなど、食事以外にも楽しんでもらえるよう工夫している。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・男性の参加者が少ない。 ・現在ボランティアはいるが、今後は高齢化と人手不足が心配である。 	・今後も現状のままで続けていきたい。 ・新たなスタッフやボランティアを発掘し育成していきたい。 



(田辺) 地域懇談会

テーマ：ふれあい喫茶



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
● 第1木曜日13時～15時開催 ● 1品100円 ・ コーヒー、ミックスジュース、コーヒーゼリー（夏季限定）、ぜんざい（冬季限定）を提供している。 ・ 女性部が3班に分かれて活動している。 ・ メニューは全て手作りで、ぜんざいは前日から小豆を炊いている。 	・ 高齢者だけでなく、地域の施設の利用者やスタッフも参加されるなど、さまざまな人たちの交流の場になっている。 ・ ぜんざいは、手間がかかるが、参加者からの人気が高い。 ・ 一杯目を飲み終えた後も、次のメニューをオーダーして長い時間会話を楽しむ方が多く居場所になっている。 ・ 会館がガラス張りですぐ外から活動の様子が分かりやすいこともあり多くの方が利用してくださっている。 ・ 田辺中央会館を利用した人が田辺会館にそのまま寄ってくださる。 ・ 一人でもふらっと入ってくることができるアットホームな雰囲気があり参加しやすい。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・ 福祉施設の方が利用される際に、室内用の車いすの準備がいる。 ・ ボランティアの高齢化などで、今後人手不足になることが心配である。 	・ 新たな活動者を育成していきたい。 ・ 周知方法などを検討し地域で孤立しがちな方など、本当に出てきてほしい人に情報を届けたり担い手の発掘につなげたい。 ・ 車いすの方でも参加しやすい会館にする工夫（ハード面）を考えたい。 ・ 田辺会館と田辺中央会館の2拠点を上手く活用しながら、居心地よく過ごせる場にしたい。 

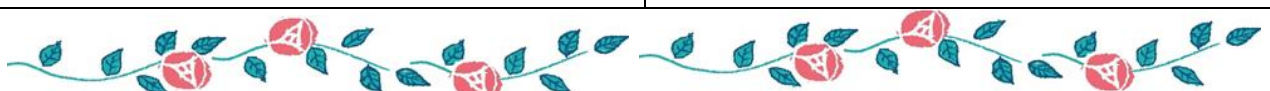


(田辺) 地域懇談会

テーマ：田辺子ども食堂元気亭



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週月～金曜日 7時～8時、14時～16時開催 ・男性の担い手がシェフをしている。 ・平均は5～6名だが、金曜日は約10名の参加がある。 ・5～6年生が多い。 ・地域の中で担い手を募りつつ、現在はスポーツ推進協議会のメンバーで運営している。 	・こども食堂を毎日開催しており、気になるこどもを見守る仕組みがある。 ・登校はできないが、会館のイベントには参加できるこどもたちの居場所になっている。 ・顔色だけでこどもたちの様子を判断できるぐらいの関係性ができている。 ・こどもたちの喜ぶ顔が活動の原動力となっている。 ・認知度が上がり、寄付してくださる方が増えてきた。 ・学校で元気亭のメニューが話題になることが嬉しい。 ・学校との連携ができている。 ・学校からの依頼で緊急時の対応の連携や受け入れなども行っている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・田辺地域在住の方に協力してもらえると嬉しい。 	・今後は、放課後の時間を活用して、学びの場の機能も持たせていきたい。 ・さまざま形式を試し、現状に合ったやり方を模索していきたい。 



(田辺) 地域懇談会

テーマ：青春クラブ



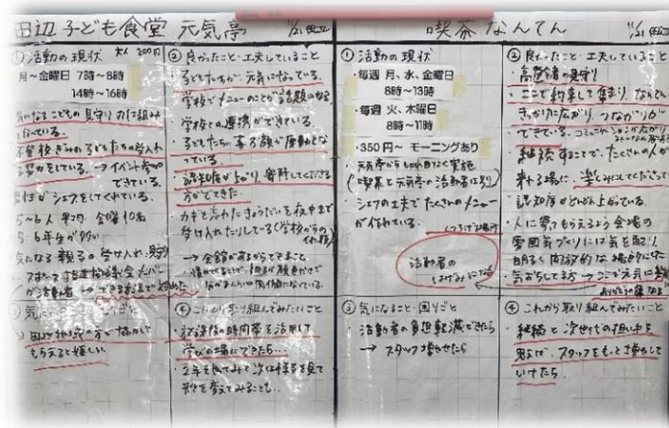
① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
麻雀 ●毎週水・土曜日 10時～16時開催 ●1回500円 ・男性より女性が多く、12～16名が参加。 ・上手な方と、初心者の方がうまく混ざること、勝負が楽しめるように配慮している。 ・「喫茶なんてん」の食事券を配付するなど、この場から異なる集いの場に広がりを持てるようにつなぐことを意識している。 カラオケ ●第2、3、4土曜日の18時～21時 ●1回300円 ・年配の方が多く、家族の送迎の協力もある。 ・約15名の参加者で、1人3～4曲歌う。 ・女性が多く、男性が少ない印象がある。 ・他市から飛び入り参加も受け入れるなど参加がしやすい。	麻雀 ・参加者がありのままで過ごすことができる場づくりを心掛けており、ストレス発散にもなっている。 ・参加者からの「ここで元気をもらえる」といった発言がスタッフの活動の原動力になっている。 ・参加者同士がこの場に慣れてきたことで関係性が深まり、良い雰囲気となっている。 ・初めてでも参加しやすいよう、テーブルのメンバーが固定化されないよう意識している。 ・参加者が気持ちを言い合える場所になっており、思いを吐き出せたことで終了する頃にはやわらかい気持ちになっている。 ・「ここに来たい！」という思いで車いすの方も参加されており、一人ひとりにとっての居場所になっている。 ・電話で参加への声掛けを行っている。 ・活動者として面白さとやりがいを感じている。 カラオケ ・どなたでも、どこからでも参加しやすい雰囲気づくりをしている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
麻雀 ・活動の現状 ・良かったこと、工夫していること ・気になること、困りごと ・これから取り組んでみたいこと カラオケ ・活動の現状 ・良かったこと、工夫していること ・気になること、困りごと ・これから取り組んでみたいこと	麻雀 ・参加者同士の関係性をより良くしていけるようなきっかけ作りを工夫していきたい。 ・大会なども開催してみたい。 カラオケ ・高齢者が多く、夜遅い帰宅は危ないことから、昼の開催に変更を検討中。 ・参加者全員で歌うなど、1人で楽しむだけでなく違う楽しみ方も提案していきたい。



（田辺）地域懇談会

テーマ：喫茶なんてん



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週月・水・金曜日8時～13時開催 ●毎週火・木曜日8時～11時開催 ●350円～ モーニングあり 	・シェフの工夫で豊富なメニューがある。 ・参加者の顔を見ることで高齢者の見守りの機能を果たしている。 ・次回の約束をすることで集まりが継続され、つながりが広がっている。 ・地域の方の居場所となり、多くの方がくつろげる空間となっている。 ・認知度がどんどん上がっている。 ・居心地の良い雰囲気づくりに気を配り、明るく開放的な場所になるよう工夫している。 ・元気のない方が、帰る際には笑顔で元気になっている様子を見ると活動者の励みになる。 ・「子ども食堂元気亭」から「喫茶なんてん」まで切れ目がなく、開催時間が長いことから、好きな時間に自由に出入りができ幅広い世代が参加しやすい場となっている。 ・参加者が孤立しないよう、一人ひとりへの配慮を心掛けている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・田辺地域在住の方に協力してもらえると嬉しい。 ・担い手を増やすことで活動者の負担を軽減できたらとの思いがある。 	・活動者をもっと増やしたい。 ・次世代の担い手へ活動内容や活動者の想いを継承していきたい。 



令和5年度 南田辺地域懇談会 まとめ

《 地域懇談会の目的 》

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和5年11月7日（火） （午前10時～11時30分）	
開催場所	南田辺会館	
参加者	南田辺地域 伊藤会長（社協） 坂本会長（連合） 前田女性部長 三宅氏（食事サービス） 吉本氏（ふれあい喫茶） 曲田氏（親子サロン） 和田サポーター 区社協 佐藤（事務局長） 荻野（地域支援） 郷原（地域支援） 新井（地域支援） 荒井（体制整備） 岡村（体制整備） 森（見守り相談室） 濱辺（地域包括） 由良（地域包括）	
テーマ	食事サービス、ふれあい喫茶、親子サロン	



集いの場・居場所の重要性とは？

誰もが
孤立しない
地域づくり

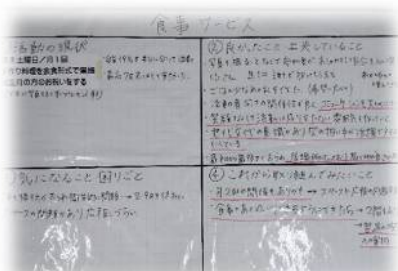
つながり
づくり

居場所
づくり

（南田辺）地域懇談会



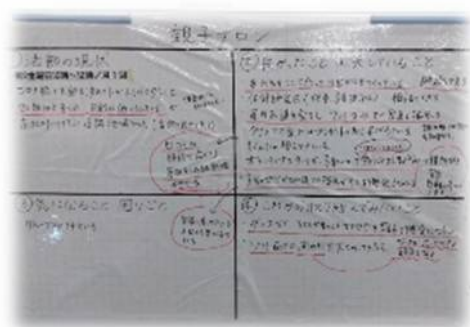
テーマ：高齢者食事サービス

① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第3土曜日12時頃～開催 ・食事は手作りで、会食形式にて実施。 ・食事サービス委員を半分に分けて活動している。 ・最も人数が多いときは78名で実施した。 	・毎月、誕生月の方に花をプレゼントし、その花とともに写真撮影をしている。写真はすぐに印刷し、その場で渡している。誕生月の方は、おしゃれをして気合を入れて来てくれる人が多い。年1回誰もがお祝いしてもらえることで、喜ばれている。 ・参加者の声から「ごはん少なめ」を希望できる札を作成した。 ・男性の参加が少しずつ増えてきた。 ・活動者同士の関係性が良い。コミュニケーションを大切にしながら、活動を行っている。 ・笑顔なくして活動は成り立たないため、良い雰囲気づくりを行っている。 ・世代交代の意識があり、次の担い手が活躍できるようにしている。 ・参加者は長時間滞在され、会話を楽しんでいる。居場所になっており、居心地の良さがある。 ・会館に来られた人には笑顔で帰ってもらうことをモットーにしている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・食事を持ち帰る人がおり、衛生的に問題があるため、8・9月は休みにしている。 ・これ以上参加者が増えると、会館のスペース的に受入れが難しいため、広報しにくい。 	・より多くの人数を受け入れられるよう、開催回数を月1回から月2回に増やしてみてもどうか。 ・食後ゆっくり過ごしてもらえよう、2階の活用を検討してはどうか。まずは翌週のふれあい喫茶の案内をしたらどうか。 

(南田辺) 地域懇談会

テーマ：親子サロン

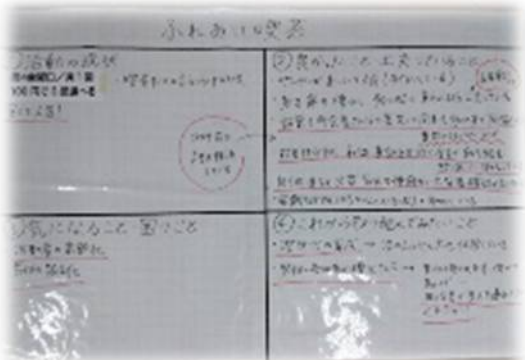


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2金曜日10時～12時開催 ・コロナ禍では参加対象の月齢に制限を設けていたが、ようやく制限を外した。 ・約20組参加されている。 ・月齢は低くなってきており、保育所に行くまでのお子さんが多い。 ・立地の良さもあり、南田辺地域だけでなく近隣地域からの参加もある。 ・一時的に実家に戻ってきている親子の参加もある。 	・親子サロンで友人をつくり、新たなつながりができることで、継続参加につながっている。 ・保健師が毎回参加しているため、相談や身長・体重測定ができ、保護者も安心できる。 ・毎月誕生日会を実施している。フォトスペースを設けており、好評である。 ・クリスマス会はプレゼントを用意しており、好評である。 ・健診での周知やロコミ等で参加者が増えてきており、毎回3～4組の新規参加がある。掲示板での周知も効果的である。 ・ボランティアスタッフは、子育てのアドバイスをするのではなく、あたたかい目で見守ることを大事にしており、それが安心して気軽に参加できる場につながっている。 ・子育て世代が地域との接点を持てる場・機会となっている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・参加メンバーがグループ化（固定化）している。 	・保護者の手を離れる時間に作るため、ダンスなどこどもだけで参加できるプログラムを取り入れてはどうか。 ・ソフト面での関わりを大切にすることで、保護者がホッとできる時間を作りたい。 

(南田辺) 地域懇談会

テーマ：ふれあい喫茶



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第4金曜日13時～開催（8・9月休み） ・100円で好きな3品を選ぶことができ、参加者からは好評である。 ・ふれあい喫茶のみ手伝ってくれているボランティアがいる。 	・手作りのぜんざいが人気である。 ・少しでも多くの人に来てもらう工夫として、座席を増やしている。飲食後もすぐに帰らず会話を楽しまれ、長時間滞在される方も多い。 ・設営は町会長等が率先して手伝ってくれるなど、多くの人の手で開催している。普段のコミュニケーションが、スムーズな連携につながっている。 ・役割分担を行い、社協や連合を区別せず、地域全体で一体となって取り組んでいる。 ・月1回来ると、必ず会える仲間が居ることで、見守り・安否確認の場にもなっている。 ・参加にあたって年齢等の制限がないことで、誰でも参加できる交流の場となっている。 ・コロナ禍で参加人数が減ったが、現在はコロナ禍以前の人数に戻っている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・活動者が高齢化してきており、次の担い手を考える必要がある。 ・孤立している男性が多い。 	・次世代の担い手の育成に向け、次の人にぜんざいの作り方を伝授している。 ・男性の参加を増やすために、男性が参加しやすい何かがあればいいと思う。町会長が友人を連れて来てくれたらありがたい。 



令和5年度 南百済地域懇談会 まとめ

《 地域懇談会の目的 》

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和5年10月24日（火） （午前10時～11時30分）	
開催場所	南百済会館	
参加者	南百済地域 中野包括 区社協	西田会長 房本会長（連合） 栗野委員長 高城女性部長 澤田氏（ふれあい喫茶） 池田氏（食事サービス） 竹本氏（親子サロン） 大東サポーター 岡田センター長 籠瀬氏 佐藤（事務局長） 荻野（地域支援） 郷原（地域支援） 松尾（地域支援） 岡村（体制整備） 作江（体制整備） 森（見守り相談室）
テーマ	食事サービス、ふれあい喫茶、ラジオ体操、 南百ふれあい食堂、親子サロン	



集いの場・居場所の重要性とは？

誰もが
孤立しない
地域づくり

つながり
づくり

居場所
づくり

(南百済) 地域懇談会

テーマ：高齢者食事サービス

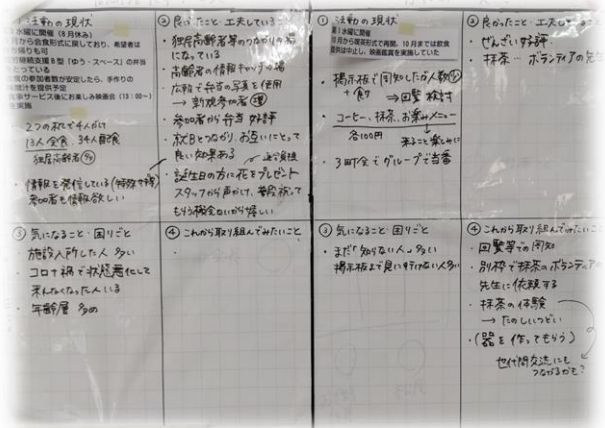


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第3水曜日 11時30分～開催 (8月休み) ・10月から会食形式に戻しており、希望者は持ち帰りも可能。 ・就労継続支援B型「ゆう・スペース」の弁当をお願いしている。 ・会食の参加者数が安定したら、手作りの味噌汁を提供予定。 ・食後にお楽しみ映画会(13時～)を実施している。 ・2つの机で4人がけにすることで、ゆったりとした配置としている。 ・10月は13名が会食、34名が持ち帰られた。 ・独居高齢者の割合が多い。	・独居高齢者等のつながりの場になっている。 ・高齢者の情報をキャッチの場。 ・毎年発行している連合の広報誌に、お弁当の写真を掲載。 →新規参加者の増加に繋がった。 ・参加者からお弁当が好評。 ・就労継続支援B型とつながり、お互いにとって良い効果がある。 ・連合が負担して誕生日の方にお花をプレゼントしている。高齢になり、誕生日を祝ってもらう機会が減少している方もおられるため喜んでいただいている。 ・情報発信(特殊詐欺など)を行っており、情報を求めている参加者も多い。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・コロナ禍で施設に入所された方が多い。 ・コロナ禍で身体の調子が悪化して、参加することが難しくなった方もいる。 ・年齢の高い方が多くおられる。 	

（南百済）地域懇談会

テーマ：ふれあい喫茶

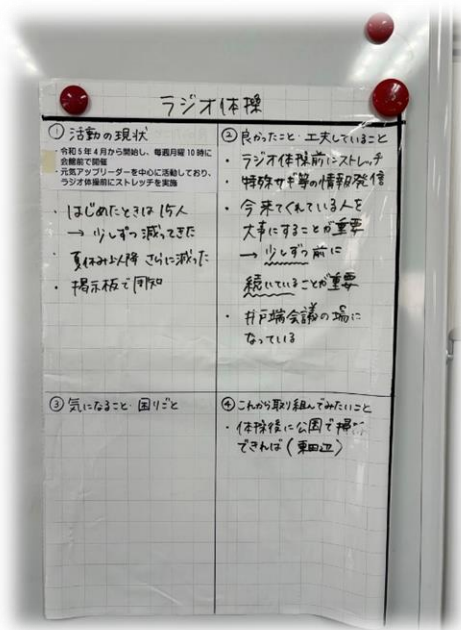
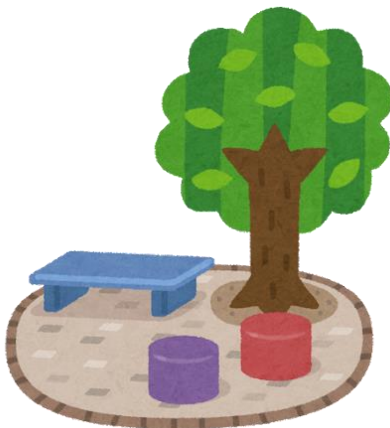


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第1水曜日 13時30分～15時30分開催 ・10月から喫茶形式で再開した。 ・10月まで飲食提供は中止し、映画鑑賞を実施していた。 ・掲示板と食事サービスで周知を行なったが、参加者は少なかった。 ・コーヒー、抹茶、ぜんざい、お楽しみメニューを各100円で提供している。 ・お楽しみメニューでは、毎月様々に月替わりメニューを用意しており、参加することへの楽しみに繋げている。 ・3町会で1つのグループとなり、当番制で回している。	・ぜんざいが好評。 ・ボランティアでお茶の先生に来ていただいている。 
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・まだ喫茶の再開を知らない方が多い。 ・掲示板まで情報を見に行くことができない方もおられる。 	・回覧板での周知をしていく。 ・別枠で抹茶ボランティアの先生に抹茶体験の講師の依頼を検討する。 ・抹茶体験を「たのしいつどい」の枠に入れて、参加者に体験してもらう。親子サロンや子ども食堂などで行えば世代間交流にもつながる。 

（南百済）地域懇談会

テーマ：ラジオ体操

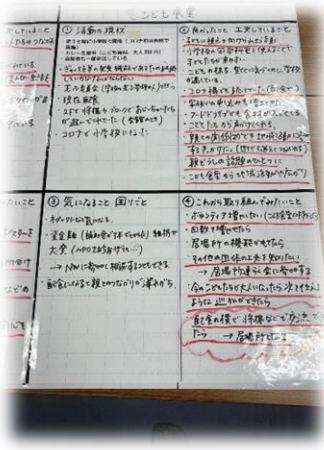


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週月曜日 10時～12時開催 ・令和5年4月から開始。 ・元気アップリーダーを中心に活動しており、ラジオ体操前にストレッチを実施。 ・掲示板で周知している。 ・会館の前で実施している。 	・ラジオ体操前にストレッチを行っている ・特殊詐欺などの情報発信をしている。 ・現在参加されている方を大事にすることが重要。→少しずつ前に続いていることが重要。 ・参加者の声を大事にする。 ・井戸端会議の場になっている。 
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・開始当初は15名程度の参加者が集まっていたが少しずつ減ってきた。 ・夏休み以降さらに参加者が減少した。 →現在は3～5名程度。 	・今後、ラジオ体操を公園で行うようになった際は、公園の清掃もしたい。 

（南百済）地域懇談会



テーマ：南百ふれあい食堂

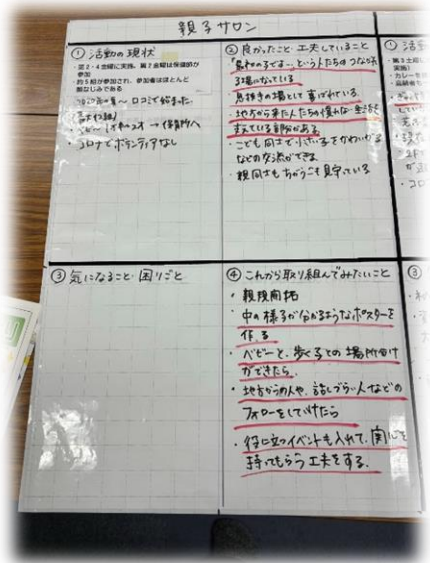
① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第3土曜日12時～小学校で開催 （コロナ前は会館で実施） ●カレーを提供 （こどもは無料、大人300円） ●高齢者も一部参加 ・虐待等の発見機能があり、継続する必要がある。 ・現在は配食で実施。 ・会館で実施する時は、2階でおじいちゃんたちが、将棋やブロックで遊んでくれていた。 	・こどもに視点を向けられる活動である。 ・小学校の家庭科室を使用できることで、こどもたちが来やすい。 ・こどもたちの様子、変化に気付くには学校が適している。 ・コロナ禍でも配食のスタイルで続けていた。 ・家族での申し込みも増えてきた。 ・フードドライブでも食材が入ってくる。 ・こどもたちから声を掛けてくれるようになった。 ・親との関係ができ、地域活動に参加するきっかけになった。（世代を超えて繋がる） ・こども食堂が、親同士の話題の一つになっている。 ・こども食堂から地域活動への広がりとなった。 
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・ネグレクトなどが気になる。 ・補助金が3年で切れ、資金難である。 ・継続していくことへの変遷。 （NPOを立ちあげても…と考える） →子育て支援ネットワーク委員会に参加し相談することもできる。 ・配食になると、親とのつながりが薄れがちになってしまう。 	・ボランティアを増やしたい。 ・回数を増やしたい。 ・居場所の機能を持ちたい。 ・居場所連絡会に参加し、その他の団体の工夫を知りたい。 ・今のこどもたちが大人になった時、次を担えるような循環になったら。 ・居場所となるよう、配食の横で将棋を指すなど交流を持てたら。



（南百済）地域懇談会

テーマ：親子サロン



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2・4金曜日10時～12時開催 ●第2金曜日は保健師が参加 ・約5組が参加され、参加者はほとんど顔なじみである。 ・令和2年（2020年）の夏に口コミで始まった。（最大12組の参加があった） ・1歳半～2歳の赤ちゃんは保育所・園に通っており参加が少ない。 ・コロナの影響によりボランティアは集まっていない。 	・第一子の親子同士がつながれる場になっており、息抜きのである。 ・他都市から転居され、慣れない環境での生活を支えている一部となっている。 ・自分より小さいこどもを可愛がるなど、子ども同士の交流がある。 ・保護者同士も他のこどもをお互いに見守る環境がある。 
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
	・新規開拓。 ・活動中の様子がわかるようなポスターの作成。 ・危険回避のため、赤ちゃんとは歩けるようになった子との遊び場分け。 ・他都市から転居してきた人や、話しかけが苦手な人などへのフォロー。 ・役に立つイベントを盛り込み、参加に関心を持ってもらえるような工夫。 



令和5年度 湯里地域懇談会 まとめ

《 地域懇談会の目的 》

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和6年2月13日（火） （午後1時～2時30分）	
開催場所	湯里社会福祉会館	
参加者	湯里地域 種谷会長 辰巳民生委員長 種谷女性部長 藤氏（会館管理人） 田宮氏（ラジオ体操） 阿南氏（親子サロン） 高松氏（将棋を楽しむ会） 山元氏（笑ゆう会） 小野サポーター 中野包括 区社協 岡田センター長 佐藤（事務局長） 荻野（地域支援） 郷原（地域支援） 岡村（体制整備） 作江（体制整備） 村上（見守り相談室）	 
テーマ	ラジオ体操、親子サロン、将棋を楽しむ会、笑ゆう会	



集いの場・居場所の重要性とは？

誰もが
孤立しない
地域づくり

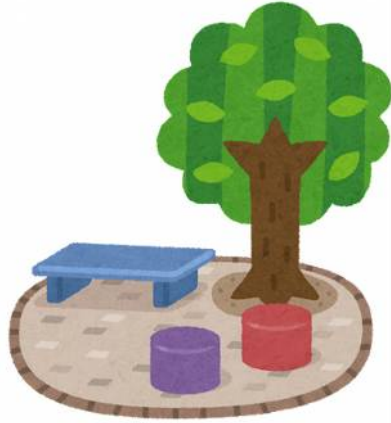
つながり
づくり

居場所
づくり

(湯里) 地域懇談会

テーマ：ラジオ体操



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週火・木曜日の１０時～開催 (７・８月休み) ・毎回３０名前後と、安定して多くの方の参加がある。 ・開催して２年が経過している。 ・屋外の公園であることから閉塞感がなく、誰でも参加しやすい空気感があり、友人を連れて来られるなど新規の方も入りやすく、男性も多い。 ・会館に隣接した公園を活用して実施している。 ・近隣の保育園からの参加もある。 	・近隣にある保育園からの散歩と時間が重なっており、小さな子がいるだけで明るく賑やかな場となる。 ・８月は冷たい飲料水、１２月には手作りのぜんざいを振る舞うなど楽しみながら継続できる工夫をし、来られた方にも喜んでいただいている。 ・高齢者施設の「泰昌園」がラジオ体操に合わせて喫茶を開催されており、体操の後にお茶を飲みに行くという流れができるなど、親睦が深まっている。 ・体操だけでない楽しみがあることが人気の秘訣、長居して過ごすことができる。 ・ラジオ体操であることから体力がつくことが最大のメリット。「泰昌園」の喫茶からラジオ体操を知る人、ラジオ体操から喫茶の場を知る人、相乗効果がある。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・男性も参加していただいているが、さらに増えたら嬉しい。 ・のぼり旗を出す準備など大変なので、できる人が増えたらありがたい。 	・さらに周知し、参加者を増やす。 ・真ん中で見本となって体操してくれる人を２～３名声掛けし、役割を持ってもらおうと生きがいや、やりがいにつながるかもしれない。 ・いろんな人の意見を聞いてみると、この場をもっと良くしていく素敵なアイデアが出てくるかもしれない。 

（湯里）地域懇談会

テーマ：親子サロン

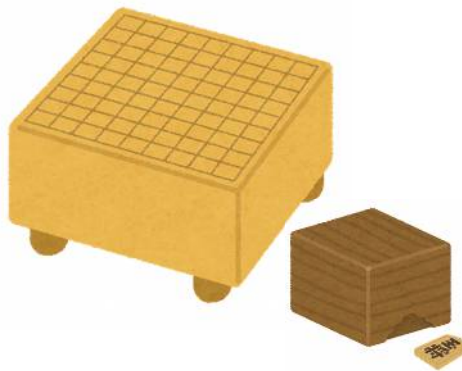


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2または第4金曜日 13時30分～15時開催 ・平均5組来られている。（コロナ禍で激減したが、徐々に戻ってきている。） ・保健師さんが来られていると体重を測ってもらえるため人気がある。 ・最近は保育所でプレのプレなどがあるため、赤ちゃんと保護者の参加が多い。 	・保護者の外出の機会となっている。 ・同じマンションの方がここで仲が深まるといった出逢いや会話のきっかけづくりができています。 ・スタッフが多く手厚く関わることができています。 ・保健師さんへ気になることを気軽に相談できている。 ・雑談の中で保護者同士の関係性ができるよう雰囲気づくりをするとともに、無理に話をしなくても居心地の良い空間となるよう心掛けています。 ・3か月に1回チラシを掲示板に貼るが、毎回の内容を記載し、見える化する工夫をしたことで参加者が増えた。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・開催時間を短くし、活動者も参加しやすくなるよう考えている。 ・さまざまアイデアがあり消防車を呼ぶなどできるが、赤ちゃんが増えているので月齢に見合った内容を考えていく必要がある。 	・今後、月齢に合わせたおもちゃを用意するなど工夫する。 ・保護者のストレスが解消できるような場にしていきたい。 ・とにかく親子で外出していただきたいという思いがある。1日1回は外の空気を吸えるよう、参加したいと思ってもらえる場所にしていきたい。  

(湯里) 地域懇談会

テーマ：将棋を楽しむ会

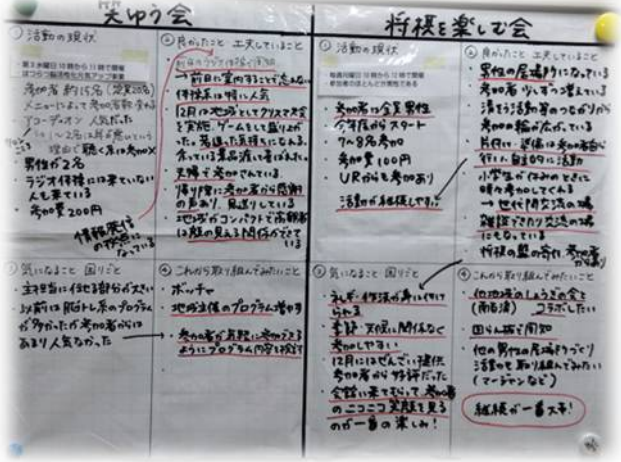


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週月曜日 10時～12時開催 ・今年度から活動開始。 ・参加者は7～8名で、全員が男性。 ・参加費100円。 ・URサンヴァリエ針中野からも参加あり。 	・男性の居場所になっている。 ・参加者が少しずつ増えている。 ・清掃活動などのつながりから、参加の輪が広がっている。 ・準備、片付けは参加者自ら行い、自主的に活動している。→活動が継続しやすい。 ・小学生が休みの時に時々参加してくれる。→世代間交流の場になっている。 ・雑談などが出来る交流の場にもなっている。 ・将棋盤の寄付が参加者からあった。 ・礼儀作法が身に付けられる。 ・季節・天候に関係なく参加しやすい。 ・12月にぜんざいを提供した際は、参加者から好評だった。 ・会館に来てもらい、参加者のニコニコ笑顔を見ることが一番の楽しみ！
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・まだまだ住民に活動が知られていない。 	・他地域の将棋会とコラボしてみたい。 ・回覧板で周知等を行う。 ・他の男性の居場所づくり活動を取り組んでみたい（麻雀など）。 ・継続することが一番大事。 

（湯里）地域懇談会



テーマ：笑ゆう会

① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第3水曜日10時～11時開催 ●はつらつ脳活性化元気アップ事業 ・参加費200円。 ・参加者は約15名で、うち男性参加者は2名程度（定員20名）。プログラムによって参加者数が変わる。 ・ラジオ体操には来ていない方も参加されている。 	・前日のラジオ体操で周知している。（情報発信の拠点になっている） →前日に案内することで忘れず参加してもらえている。 ・体操系のプログラムは特に人気。 ・12月は地域としてクリスマス会を実施。ゲームをして盛り上がり、「若返った気持ちになれる」などの感想をいただいた。 ・夫婦で参加してくれている。 ・見送りをしていると、帰り際に参加者から感謝の声をもらえ、励みになる。 ・地域がコンパクトで、高齢者は顔の見える関係が出来ている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・主担当の保健師に任せる部分が多い。 ・以前は脳トレ系のプログラムが多かったが、参加者からはあまり人気がなかった。 	・ポッチャもプログラムに組み込んでいきたい。 ・地域主催のプログラムを増やす。 ・参加者が気軽に参加できるようにプログラム内容を検討したい。 

令和5年度 矢田東地域懇談会 まとめ

＜ 地域懇談会の目的 ＞

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和6年1月31日（水） （午前10時～正午）	
開催場所	住道矢田福社会館	
参加者	矢田東地域 矢田包括 矢田東ランチ 区社協	酒井会長 高橋副会長 山岡女性部長（食事サービス・ふれあい喫茶） 松田主任児童委員（親子サロン） 青野サポーター 吉田センター長 小泉氏 岡本氏 佐藤（事務局長） 荻野（地域支援） 郷原（地域支援） 岩永（地域支援） 岡村（体制整備） 中尾（体制整備） 森（見守り相談室）
テーマ	食事サービス、友愛訪問、ふれあい喫茶、世代間交流（囲碁・将棋）、親子サロン	



集いの場・居場所の重要性とは？

誰もが
孤立しない
地域づくり

つながり
づくり

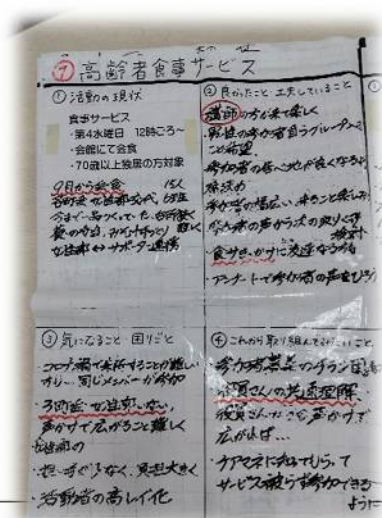
居場所
づくり

（矢田東）地域懇談会

テーマ：高齢者食事サービス



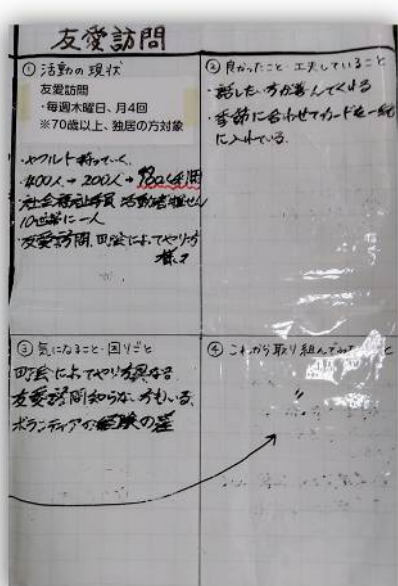
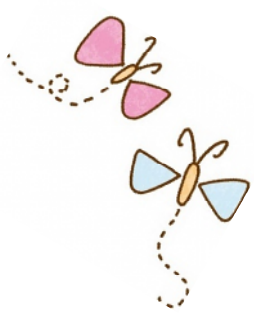
① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第4水曜日12時頃～開催 ●会館にて会食 ●70歳以上の独居の方対象 ・9月から会食に戻し、約15名参加。 ・ボランティアは、各種団体の協力を得て、交代で行っている。 ・やすらぎセンターから住道矢田福祉会館に場所が変わった。 ・コロナ禍は仕出し弁当を配食していたが、現在は仕出し弁当に手作りのみそ汁、フルーツを添えて会食にしている。	・各種団体と地域福祉サポーターの連携ができており、日頃からよく話をしている。 ・男性参加者は少ないが、「もっと交流したい」、「女性の中に一人でも構わない」とおっしゃる方がいた。男性参加者の中にも、会話や交流を楽しみされている方がいることが分かりよかった。 ・参加者の居心地が良くなるよう、配慮して席を決めている。 ・食事サービスをきっかけに友達になる方もおられ、楽しみにされている。 ・地域福祉サポーターが調整し、講座や情報提供を毎回行っている。「おもしろかった」、「こんな話を聞きたい」など参加者の声を拾い、今後のヒントにしている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・コロナ禍の間に、デイサービスの利用を始めた方、高齢者施設に入所した方や、会館まで歩けなくなった等の理由で、参加者が減った。 ・参加を広げていくためには、町会からの働きかけがさらに必要と感じる。 ・担い手不足や活動者の高齢化により、現在の担い手の負担が大きくなっている。	・食事サービスのチラシを作り、改めて周知する。 ・地域役員に食事サービスの大切さを認識・理解してもらい、役員の声掛けで広がればと思う。 ・ケアマネジャーに食事サービスの日程を知ってもらい、介護サービスと被らないようプランを立ててもらう。



（矢田東）地域懇談会

テーマ：友愛訪問

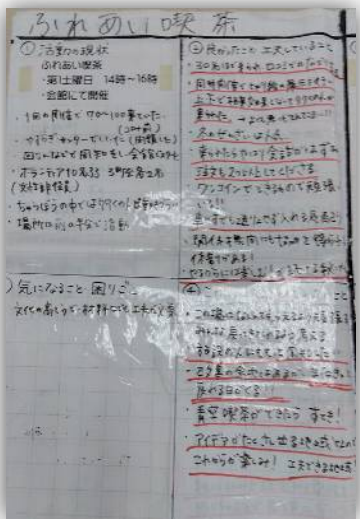


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週木曜日（月４回）開催 ●70歳以上の独居の方を対象 ・町会によって実施方法に違いはあるが、社会福祉委員がヤクルトを持参して訪問している。 ・最も多い時は400名に訪問していたが、コロナ前は200名に減り、現在は約100名を対象に訪問している。 	・話をしたい方もおられ、訪問すると喜んでくれる。 ・訪問を楽しみに待っておられる人もいる。 ・季節に合わせたカードを添えている。 ・友愛訪問を続けていると、普段と様子が違う時に気づくことができる。  
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・友愛訪問のことを知らない人がいる。 ・町会によって実施方法が異なる。 	・友愛訪問をケアマネジャーにも知ってもらい、介護サービスが同じ時間帯にならないように調整してもらう。 

(矢田東) 地域懇談会



テーマ：ふれあい喫茶

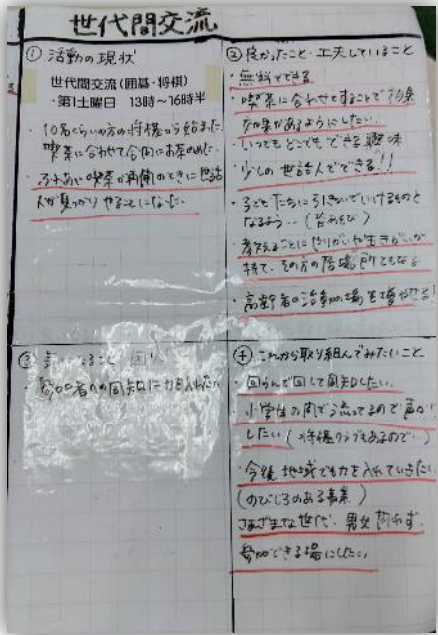
① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第1土曜日14時～16時開催 ●会館にて開催 ・コロナ前は、やすらぎセンターで開催しており、1回の参加者が70名～100名であった。 ・やすらぎセンターが閉鎖したため、開催場所を住道矢田福祉会館に変更して開催している。地域住民には、回覧や掲示板で周知し、再開した。 ・ボランティアは女性部役員10名、3町会から各2名参加している。 	・コロナ禍で休止していたが、再開後口コミで広がり約30名の参加者がある。 ・喫茶と同時に切り絵の作品展示（2階）を行った日は、相乗効果で多くの参加者があった。 ➡満員で良くも悪くもてんてこ舞いであった。 ・冬のぜんざいは特に人気があり、参加者にも喜んでもらえる。 ・参加されると会話が弾み、長居される方も多く2品以上注文してくださる。 ・ワンコインで提供できるもので頑張っている。 ・車いすでも遠慮せず参加できるよう、あらかじめ車イス用の通路を確保し、公園側からでもそのまま入れるようにするなどの配慮をしている。 ・やるからには「楽しむ！」が活動を続ける秘訣。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・物価の高騰で材料なども工夫が必要となっている。 ・会場の広さは以前の半分で、キッチンも以前に比べて狭く、中には数名しか入れない。 	・コロナ禍で休止し再開しても参加者が戻らない状況、休止から再開することの難しさを感じている。 ・参加者をコロナ前の状態に戻すためには、どうすればいいのか考えていきたい。またきっと戻れる日がくると思う。周知の範囲をもう少し広げていく。 ・参加者に馴染んでもらえる様に頑張る。 ・施設の人にもっと周知していきたい。 ・住道矢田福祉会館横に公園があり、青空喫茶ができればステキ! ・アイデアがたくさん出せる地域なので、これからは楽しみ。まだまだできる地域だと思う。 ※参加者が増えても対応できるよう、どこまでボランティアの体制が整えられるのか?ということも考えていく必要がある。



（矢田東）地域懇談会

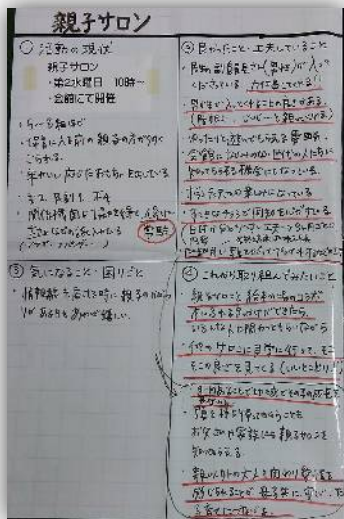
テーマ：世代間交流（囲碁・将棋）



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第1土曜日13時～16時30分開催 ・約10名の将棋メンバーから始まった。 ・ふれあい喫茶を再開する際に、世代間交流に協力してくれる人が見つかり、再開できた。 	・無料でできる。 ・いつでもどこでもできる趣味になる。 ・ふれあい喫茶に合わせて開催することで相乗効果を生むようにしている。（合間に喫茶でお茶が飲める） ・ボランティアの人数が少なくてもできる。 ・教えることに、やりがいや生きがいを持つことができ、その方の居場所にもなる。 ・高齢者の活動を増やせる。 ・子どもたちに引き継いでいけるもの、例えば昔遊びなどもやっていきたい。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・周知に力を入れたい。  	・回覧して周知したい。 ・将棋クラブなど、小学生の間に流行っているので声をかけていきたい。 ・伸びしろのある事業なので地域でも、力をいれていきたい。 ・世代、男女問わず誰でも参加できる場にした 



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2水曜日10時～11時30分開催 (4月から変更) ●会館にて開催 ・毎回5～8組ほどの参加者がある。 ・保育所、幼稚園に入る前の親子が多く来られる。 ・年齢に応じたおもちゃを準備している。 ・主任児童委員2名、民生副委員長1名、ボランティア4名で運営している。 ・関係機関の協力を得て、お話などしてもらっている。(子ども・子育てプラザ、読み聞かせボランティアグループのラ・パンダ) ・保健師が毎回常駐してくれている。	・民生副委員長(男性)が活動メンバーに入っており、力仕事ををお願いしたり、防犯面でも安心。男性がいてくれることの良さがある。こどもたちは「じーじ」と呼んでとても慕っている。 ・ゆったりと遊んでもらえる雰囲気づくりを心掛けている。 ・会館に馴染みのない世代の人たちにも、会館の存在や活動を知ってもらえる機会になっている。 ・開催日や内容がわかりやすいチラシを作成し、3カ月ごとに更新して周知している。 ・こどもたちの誕生月には、季節を意識した「映える写真」を撮影し、プレゼントしている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・情報誌を届けてもらう時に親子と関わりを持ってほしい。	・関係団体と絵本を通してコラボができればいい。 ・いろいろな人に関わってもらいながら、こどもたちが本に触れるきっかけが増えたらと思う。 ・他の親子サロンを見学に行き、良い所は参考にし活動に生かしたい。 ・月1回開催することで、地域とこどもの成長を見守ることができる。 ・お父さんや他の家族にも親子サロンを知ってもらえるように周知したい。 ※親以外の大人と関わり、愛情を感じられることが、親子ともに安心した子育てにつながる。



令和5年度 矢田中地域懇談会 まとめ

《 地域懇談会の目的 》

地域懇談会は「地域でつながることの重要性」の再確認や地域活動（集いの場や居場所）のさらなる活性化につなげることを目的とし、地域役員の方や活動者のみなさまと共に開催いたしました。

開催日時	令和5年11月28日（火） （午後2時～4時）	
開催場所	矢田中ひまわり会館	
参加者	矢田中地域 中辻会長 酒井民生委員長（食事サービス） 田中女性部長 種田氏（親子サロン） 永野氏（百歳体操・ラジオ体操） 佐藤サポーター（ふれあい喫茶） 矢田包括区社協 吉田センター長 佐藤（事務局長） 荻野（地域支援） 郷原（地域支援） 岩永（地域支援） 岡村（体制整備） 中尾（体制整備） 森（見守り相談室）	 
テーマ	食事サービス、ふれあい喫茶、親子サロン、子どもひまわり食堂、百歳体操・ラジオ体操、矢田中ボッチャの会	



集いの場・居場所の重要性とは？

誰もが
孤立しない
地域づくり

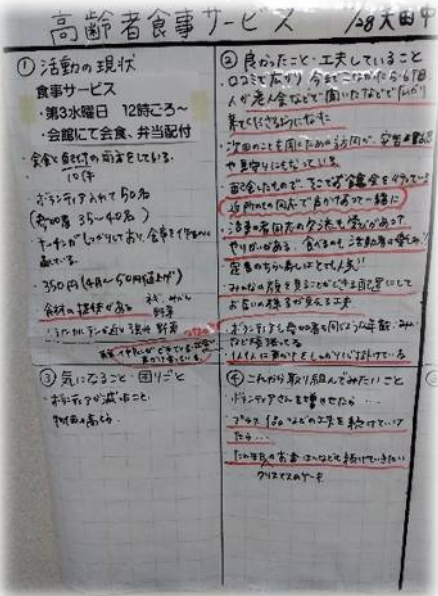
つながり
づくり

居場所
づくり

（矢田中）地域懇談会

テーマ：高齢者食事サービス



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第3水曜日 12時頃～開催 ●会館にて会食、弁当配布 ・会食と配食（10件）の両方を行っている。 ※来館が困難な方には配食 ・ボランティアを入れて50名 （参加者35～40名） ・キッチンがしっかりしており、食事を作るのに適している。 ・物価が高騰し、食材も値上がりしたため、食事代も値上げせざるを得なくなった。 4月から50円値上げし350円に変更した。 ・クラインガルテンから食材（ネギ、みかん、野菜）の提供がある。クラインガルテンが近いのは強み。 	・「老人会で聞いた」などの口コミで広がり、今まで来られなかった5・6丁目の人が参加するようになった。 ・次回の参加を聞くための訪問が、安否確認や見守りにもなっている。 ・配食したお弁当を、近所の人同士が声を掛け合い、一緒に食べる「お食事会」を行っている。 ・ボランティア同士の交流も学びや、やりがいもあり、楽しみになっている。 ・定番のちらし寿司は大人気で、みなさん楽しみにしておられる。 ・みんなの顔を見ることができる机の配置にして、お互い顔が見えるように工夫している。 ・ボランティアも参加者も同じ年代で声を掛け合い、みんなで頑張っている。⇒再会、出会い、仲間ができるなどつながりができている。 ・「一人一人に声掛け」をしっかりと心掛けている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・ボランティアが減ったこと。 ・物価高騰 	・ボランティアを増やせたらいいなと思っている。 ・プラス1品などの工夫を続けていきたい。 ・誕生日の赤飯、クリスマスケーキなども続けていきたい。 



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第2・4水曜日10時～11時30分開催 ●会館にて開催 ・コロナの緊急事態宣言時以外は、ずっと続けた。 ・途切れることなく開催し支援することが出来ている。(6・7組) ・子どもへの気づきの視点がしっかりしている。 ・ファミサポで気になる方を発見し、親子サロンにつないでいる。 ・お手紙を自宅に届けるなど、きめ細かい支援を心掛けている。 ・新しい方も来てくれている。 ・子育てに対して不安を持つ保護者の居場所になっており、言葉・発達に遅れがある子の保護者への対応も行っている。 ➡ありのままを受け入れてくれる場所	・畳、木のおもちゃが喜ばれる。 ・こじんまりしているので、アットホームで緊張せずに参加でき、居心地が良いと言ってもらえる。 ・元保育所の先生がいるので安心。質問への答えがはっきりしているので頼りがいがある。 ・関係各所につなぐ支援をしている。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
	・畳を新しくして、みんなに心地良い場をつくりたい。 ・子育てプラザや保健師などのプロの手を借りるのも喜ばれるかなと思う。 ・イベント（クリスマス、七夕、ハロウィン、お別れ会）をできるだけ大切にしていきたい。

(矢田中) 地域懇談会

テーマ：子どもひまわり食堂

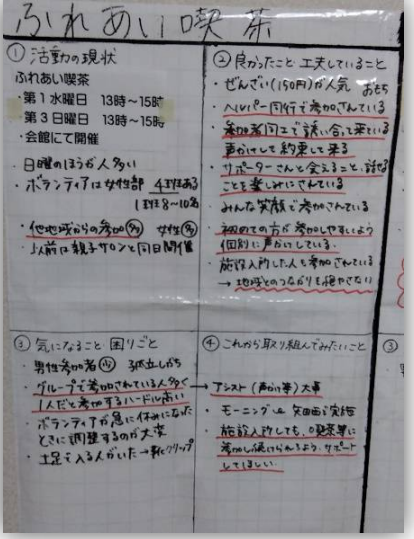


① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●学校の長期休みに開催 ●会館にて開催 ●こども 無料、大人200円 ・会食に戻した。 ・夏休みは親子で50名の参加があった。 大人：14名 幼児：11名 小学生：16名 中学生：2名 あらゆる世代の居場所、世代交流の場 ・メニューはカレー。 ・民生委員が運営していることが特徴。	・みんなで集うことを大切にしている。 ・学校の協力体制があり、チラシを児童に配布している。 ・親子サロンとのつながりがあるため、赤ちゃんから小学生まで集まる場となっている。 ・子ども食堂と親子サロンの担当が同じであるため、相乗効果で両方への広がりがある。 ・子ども食堂を楽しみにしている子が声をかけてくれるようになり、顔の見える関係ができた。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・もともとの地域性で交流が思うように進まないことがある。 ➡学校で関わるができることが強み。	・クリスマスは何か少し工夫し、ケーキなどをプラスしたい。

(矢田中) 地域懇談会

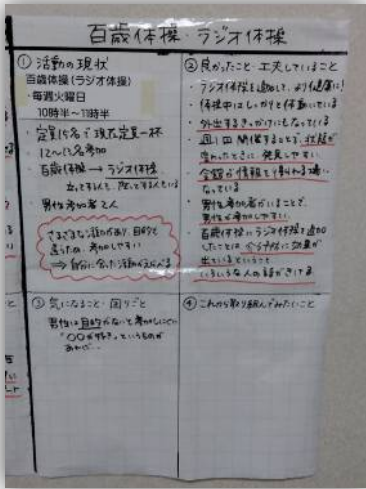
テーマ：ふれあい喫茶



① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第1水曜日13時～15時開催 ●第3日曜日13時～15時開催 ●会館にて開催 ・日曜の方が参加者は多い。 ・ボランティアは1班8～10名で構成しており、全部で4班に分かれて交代で活動している。 ・他地域からの参加者もあり、参加者は女性が多い。 ・以前は親子サロンと同日開催していた。 ・水曜日は保健師が参加し、血圧測定、健康相談コーナーを設けている。 	・ぜんざい（150円）が一番人気で、トースターで焼いたお餅を入れている。 ・ヘルパー同行で車イス利用者も参加されており、地域福祉サポーターやボランティアメンバー、他の参加者ともおしゃべりされている。 ・参加者同士で約束し、誘い合って参加されている。 ・サポーターと会って話しをすることを楽しみにされている。 ・初めての人が来られた時には手持ち無沙汰にならないよう、サポーターが個別に声を掛け、次の参加につなげている。 ・施設に入所された人も参加されている。 ➡地域とのつながりを絶やさない。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・男性の参加者が少ない。 ・仲良しグループで参加されている方が多く、一人だと参加するハードルが高いのではと思う。 ➡アシスト（声掛けなどが大事） ・ボランティアが急に休みになった時、代わりの人を探して調整するのが大変である。 ・以前に土足で入る人がいたので、玄関で靴を脱いでもらい、靴クリップを使うことにした。 	・ボランティア人員に余裕がないので難しいが矢田西地域の喫茶のようにモーニングの実施ができれば良いと思う。 ・施設に入所しても継続して参加することができるよう、介護施設や介護事業所にもサポートしてもらえよう伝えていきたい。 



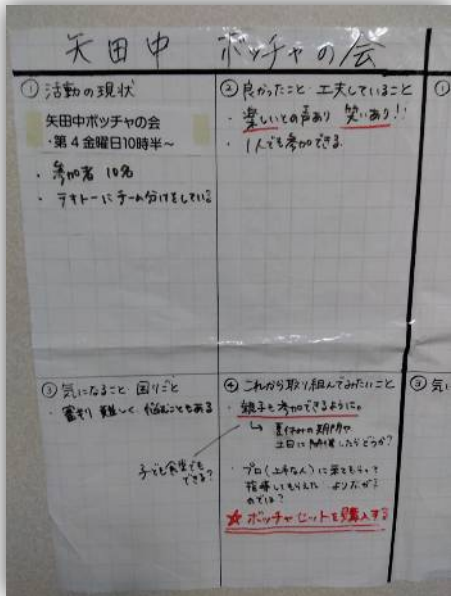
テーマ：百歳体操・ラジオ体操

① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●毎週火曜日 10時30分～11時30分開催 ・ 毎回12～13名の参加がある。 ・ 現在定員の15名に達しており、新規参加者を受け入れられない。 ・ 百歳体操の後、ラジオ体操を実施しているが、椅子に座って体操する方もおり、それぞれ自分に合わせたやり方で無理なく行っている。 ・ 現在男性参加者は2名のみである。 ずっと1名であったが、昨年7丁目の男性から問い合わせがあり、男性が増えたほうが元からの男性参加者にとっても良いのではないかというサポーターの判断で、順番待ちの人があったがこの男性を先に受け入れた。 	・ ラジオ体操を追加して、より健康的になった。 ・ 体操中はしっかりと身体が動いている。 ・ 外出するきっかけにもなっている。 ・ 週1回開催することで、いつも来ている人が来ない、何か様子がおかしいなど、状態が変わった時に発見しやすい。 ・ 男性参加者がいることで、新しい男性が参加しやすい。 ・ 百歳体操を始めた頃は、しんどかったが、継続する事で体力がつき、百歳体操の後にラジオ体操も続けできるようになってきた。 ➡介護予防の効果が出ているということ。 ・ いろいろな人と話が出来ると、矢田包括など関係機関から情報ももらえる。 ・ 入院中などで休んでいる人もいるが、退院して戻って来た時のために居場所を継続してあげたいので、欠員が出て新しい参加の申し込みは受けていない。 ※ひまわり会館には、百歳体操、麻雀、ボッチャ、健康づくり教室、元気はつらつ木曜会、コスモスの会など様々な活動があり、自分に合った活動が選べる。それぞれ目的も違うため参加しやすいのではないかな。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・ 男性は目的がないと参加しにくい。 「〇〇が好き」というものがあり、それに合う活動があれば、参加するのではないかな。 ・ 定員一杯なので新しい人を受け入れられない。 同じ矢田中地域の花未来プラザ地域交流ホールで百歳体操を実施していることを伝えている。	

（矢田中）地域懇談会



テーマ：矢田中ボッチャの会

① 活動の現状	② 良かったこと、工夫していること
●第4金曜日10時30分～開催 ・参加者は毎回約10名。 ・終了時間はきっちり決めず、その日の参加者で「これで最後にしようか」という風に話し合い活動している。	・ルールが簡単なので分かりやすい。 ・毎回笑いがあり、参加者からは楽しいとの声が上がっている。 ・1人でも参加できる。 ・最初はボールがあちこちに散らばっていたが、回数を重ねるうちに上達し接戦が増え、よりおもしろくなった。 ・花未来プラザ地域交流ホールでのボッチャ（第3土曜）にも参加している人がいる。
③ 気になること、困りごと	④ これから取り組んでみたいこと
・審判、判定が難しく悩むことがある。  	・こども食堂で開催できないか。 ・親子も参加できるように、夏休みの期間や土日に開催してはどうか。 ・選手（上手な人）に来てもらって指導してもらえれば、より広がるのではないか。 ★現在、ひまわり会館と区社協間のボッチャセットの運搬をどうするのが課題となっている。来年度の予算でボッチャセットを購入するという方法もある。 